

環境マネジメントシステム導入報告書

（宛先）京都府知事		2019年 7月 24日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府京田辺市大住浜55番12号		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） パナソニックデバイス日東株式会社 代表取締役社長 老松 宗幸
環境マネジメントシステムの名称	環境マネジメントシステム （パナソニック株式会社AIS社デバイスソリューション事業部）	
適用範囲	パナソニックデバイス日東株式会社	
導入年月日	1997年 12月 22日	
認証番号	EC10J0027	
基本方針	パナソニック株式会社 インダストリアルソリューションズ社 デバイスソリューション事業部は、上位組織のパナニックグループ「環境宣言」及び、インダストリアルソリューションズ社「環境方針」を受け、電子部品の製造・販売を通して、国・地域の法規制・条例・協定及びお客様の必要な要求事項を順守し、持続可能な社会の実現に向け、地球・地域・工場環境の汚染予防、並びに環境貢献と事業成長を両立する環境マネジメントを推進する。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①省エネルギー：CO2生産数原単位：'18年度比1%削減 ②コンプライアンス：違反ゼロ ③リスク：環境品質事故ゼロ	
目標を達成するための取組の内容	①省エネルギー：コンプレッサの更新、LEDの導入 ②コンプライアンス：・下水道排水基準の遵守 ・地下水基準値の遵守 ・アスベスト、700内蔵設備適正管理 ・危険物倉庫、薬品倉庫、排水処理施設、有害貯蔵物質貯蔵施設の適正管理 ③リスク：購入部品環境負荷物質管理、サプライヤ監査の実施	
目標を達成するための取組の進捗状況	①省エネルギー：コンプレッサは更新済み、LEDは20%導入 ②コンプライアンス：すべて実施済み ③リスク：すべて実施済み	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①省エネルギー：レンズの販売が大幅に落ち込み、生産数は減少するが固定電力を抑えることができず、上記の取組みを実施するが、生産数CO2原単位は2.7%悪化し、当初の計画は未達成。 ②コンプライアンス：違反ゼロで計画達成。 ③リスク：環境品質事故ゼロで計画を達成。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	・法律及び条例等の遵守事項については、定期的な監視・測定を実施し、順守事項の評価を行っている。 ・法律及び条例の要求事項から逸脱する事例は発生していない。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	ISO14001（2015年度版）改訂により環境マネジメントシステムの見直しを実施。 ・環境目標の設定に際し、「外部・内部の課題」、「利害関係者の要求事項」を考慮して「リスク及び機会」を明確にし、『取組み計画展開表』の作成を追加。 ・EMSの有効性評価シートを追加。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。